

■露五郎兵衛 咄家(落語家)。観客を前に口演する“辻ばなし”で超有名人となり、上方落語の開祖とされる。  
つゆのごろべえ  
寛永飢饉終・1643＝ 生。

徳川家光没・1651＝ 8歳：  
承応事件・・1652＝ 9歳：

明暦の大火・1657＝14歳：

清帝国始・・1661＝18歳：

酒井忠清大老1666＝23歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1670＝27歳：

\_\_もともと日蓮宗の談義僧であったが、還俗して辻うち(大道芸人)の頭梁となり、最盛期は20人以上の集団を率いる実力者であった(「露鹿懸合咄」)。

京都の嵐頭子の町年寄をもつとめた。

越後騒動・・1679＝36歳：\*この前後には、既に名声は高く、  
徳川綱吉將軍1680＝37歳：

堀田正俊暗殺1684＝41歳：\*以降、京の祇園・北野天満宮・四条河原などの盛り場や神社仏閣の祭礼開帳の場所で、群集を前に軽口噺(笑話)を演じておおいに好評を博し、すぐれた滑稽の才と巧みな話術で名人上手と称され、都の内外にその名を広く知られた。聴衆から代金を徴集する辻噺のほかに、日待ち(日祭)、月待ち(月祭)の席に出て夜談義をしたり、貴人の前に召されて噺を演じたりした。

生類憐令始・1687＝44歳：  
日本永代蔵・1688＝45歳：

別子銅山始・1691＝48歳：\_\_著書「軽口露がはなし」,

生類憐令頂点1695＝52歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1697＝54歳：  
吉保大老格・1698＝55歳：\_\_著書「露新軽口ばなし」,  
・ ・ ・ ・ ・ 1699＝56歳：この頃、ふたたび剃髪して露休と名をあらため、

松の廊下事件1701＝58歳：\*著書「露の五郎兵衛はなし」と、多くの作品が出版されるなか、

赤穂浪士切腹1703＝60歳：\_\_没した。  
\_\_没後、「軽口あられ酒」「露休置土産」が出版された。